

STEP^{ワン} I 取り組みたい社会問題を決めよう



アクティビティ STEP I-A1 地域社会との関わり・グローバル化について考える

地域（ローカル）との繋がり、世界（グローバル）との繋がりを身近な生活スタイルから考えていきます。学習者の児童や生徒が自分が生活する地域社会（まち）や国際社会を見つめ、繋がりを実感できるようにします。

目的：学習者が、地域社会（まち）や世界と自分の生活がどのように繋がっているのかについて考え、相互に関係することで生活が成り立っていることを理解する。

所要時間：45分～

実施基準：★★

対象：小学校中学年～

形式：グループワーク / 全体

用意する物：ワークシート A の配布（黒板やホワイトボードに書き出し、あとで清書するなども可）

▼ワークの進め方：

(1) 地域社会（まち）との関わりを考える（20分～）

ねらい 地域社会（まち）は、個人、家庭、学校、町内会・自治会、公共施設・地方公共団体、企業、NPO など多様な主体が社会的・経済的活動を営むことによって成り立っており、相互に関係しあっていることを理解する。

ポイント

◇地域社会の定義：ある一定の地域に住む人々から成る社会。地縁社会。（大辞林第三版、三省堂）

◇地域社会を構成する組織や場所：「学校」「町内会・自治会」「病院」「警察署」「消防署」「役所」「図書館」「スーパーなどの店」「レストラン」「公園」「プール」「児童館」「工場」「ごみ処理場」「老人ホーム」「障害者施設」「学習塾」「NPO」「神社」など。

◇地域社会を構成する組織や場所の役割：「教育の提供」「地域の安全を守る」「環境美化」「文化・スポーツ活動」「子どもや若者の居場所や遊び場の提供」「医療の提供」「社会福祉の提供（高齢者福祉や障害者福祉、児童福祉など）」

◇人間が生活するうえで地域社会でおこなっている活動・享受するサービスの種類：消費、生産、労働、教育、衛生・医療、清掃、遊び、スポーツ、芸能・芸術、祭り、祈りなど

ワーク A (ワークシート A) を各学習者に配布し、問いかけていく。

問①) 私たちが安心して、健康的・衛生的に、人間らしく生きるためには、どんなモノやサービスが必要ですか？

⇒ 予想される意見：お金、スマホ、テレビ、ゲーム、食料、サッカーボールなどのスポーツ用品、本、メガネ、薬、お菓子、楽器類、着るもの（衣服）、自分の時間、警察、ごみ収集、下水処理、消防など

⇒ 学習者から出てこなかったら、指導者から下記の「必要なモノ」を伝えてください。

飲み水、食料、教育（学校）、保健医療、仕事、住居（家）、エネルギー、警察、ごみ収集、下水処理、消防など

問②) 問①で出た「生きるために必要なモノ」は、自分が住むまち(地域社会)でどんな組織やヒトが提供してくれますか? どこに行ったら手に入りますか? (問①で学習者が書いた付箋紙に書くように伝える。)

⇒ 予想される意見: 銀行、ケータイショップ、家電量販店、スポーツショップ、体育館、スポーツグラウンド、公園、書店、図書館、薬局、病院、スーパー、公民館、学校、水道局、農地(農家)、電力やガス会社、警察署、清掃局、消防署、など。

●ポイント! ●ここで、地域社会(まち)を構成する組織や場所が様々あることを確認する。

問③) 私たちが健康的に、安心して、衛生的に、人間らしく生きるために、改善したら良いまちのルールや、仕組み(サービス)や、モノを、考えてみてください。 ※思いつくものは何でも OK

例) 夜道が暗いので、電灯を増やす / 面白い遊具を公園を増やす / Wifi が無料で使える場所を増やす / 自転車専用の道を整備する / 給食のデザートの種類を増やす / 学校の制服や校則をなくす / 痴漢やスリをなくすために、バスや電車に防犯カメラをつける / 野良猫を殺処分するのではなく、野良猫引き取りのためのグループを設置する など

●ポイント! ●学習者一人ひとは、大切な地域社会(まち)の構成員の一人であること、子どもであっても、より良いまちづくりのために声をあげてよいことを伝える。意見の内容に応じて、どこに自分の声を届けたらよいのか調べるとよいことを伝える。自分勝手な意見では、聞いてもらえないことも伝える。

アクティビティ STEP I-AI 地域社会との関わり・グローバル化について考える

ワークシートA

①) わたしたちが 安心して、健康的・衛生的に、人間らしく 生きるためには、どんなモノや

サービスが 必要 ですか？ 思いつくものをいくつか書いてみよう。

例) 飲み水、シャワー、せっけん、寝る場所、あそぶ場所……

問②) 問①で考えた「生きるために 必要なモノ」は、自分が住むまちでどんな 組織 やヒトが

提供 していますか？ どこに行ったら手に入りますか？

問③) 安心して、健康的・衛生的に、人間らしく 生きるために、あったらよいまちのルールや、

しくみ(サービス)や、モノを、考えてみてください。※思いつくものはなんでも OK!

(2) 世界(グローバル化)との関わりを考える(20分~)

ねらい 地球規模でおきていることや世界と日本にいる私たち(の暮らし)は関わっていることを理解する。

ポイント

◇海外からやってきたヒトやモノは私たちの暮らしにたくさん!

ヒト:観光客、労働者、留学生、会議や交流会に招へいされた人、専門家、研修生、アーティスト、住民など

モノ:輸入された食料品(農産物、畜産物、水産物、加工品、原材料、水)、外国産商品(衣類、雑貨、電化製品、車、家具、商品の原材料、植物、木材、鉄鋼品)、エネルギー(石炭、天然ガス、石油)、情報、技術、言語、芸能文化、音楽、宗教、ウィルス、医療関連品、薬物、外来生物、海洋ゴミ、黄砂などの環境汚染物、新型コロナウイルスのような感染源になるものもホット 이슈ー

◇グローバル化が進展する社会を考える

近年インターネットや物流の発達により、外国の商品を簡単に購入することができ、食卓の上にも、世界中のものがあふれており、インターネットで簡単に世界中の情報やモノにアクセスすることができる。人・モノ・金・情報だけでなく、様々な文化・価値観が国境を越えて行き来するようになり、ますますその動きは激しくなっている。このことは、世界の国々、人々が相互に依存する関係になっていることを表している。「世界」は私たちにとって、ますます身近な存在になっていることを理解する。

ワーク B

問) 私たちの暮らしで見かけたり、聞いたりする海外からやってきたモノは、何があるでしょうか。それはどこからやってきたでしょうか。それらのヒトやモノによって、私たちはどのような影響を受けているでしょうか。

⇒ ワークシート A の裏面に、思いつくものを書いていくように伝える。

予想される意見: コロナウイルス、チョコレート、コーヒー、紅茶、コットン(Tシャツなど洋服)、バナナなどの果物、海洋ゴミ、外来植物、外来生物(カミツキガメ、ヒアリなど)、レアメタル(スマホや PC、ゲーム機、自動車の製造に欠かせないタンタルなど)、音楽、イケアやコストコなどのスーパー、Facebook や Twitter などの SNS

※上記 **ポイント** であげたものを紹介していく。

●ポイント! ● 海外からやってきたヒト・モノ・サービスなどの多くは、私たちの生活を豊かに彩る、なくてはならないものですが、中には病気や、環境破壊を引き起こす危険なものもあります。また、逆もまた然りで、日本から海外に向けたモノの中には、良い物も悪い物もあります。いずれにしても、私たち日本に暮らす一人ひとは、世界を構成する一員であり、私たちの暮らしは世界とつながっているため、相互に影響を与え合う存在であることを伝える。